

Aさん 私は20年前右胸に小さいしこりを自分で見つけて、全摘しました。幸いリンパの方には行っていませんでした。5年間ホルモン治療をやって、その後1年に1回検査して、10年経ってもういいでしょうと言われ治療は終わりましたが、18年後胸骨に再発しました。3.5cmだったのが抗がん剤が効いて1.5cmまで小さくなりましたが、他に鎖骨と首にも腫瘍が見つかり、何個もあるから手術もできず放射線も使えないということでフェマールを投与されそれが効いて腫瘍が無くなりました。今年7月に受けたPET検査でもどこにも臓器にも行ってないということです。ホルモンを抑える治療をしているので、更年期障害の症状が出ると言われており、注意力散漫になると言われています。眠気がすごく襲ってきて、ボーっとしちゃいます。

Bさん 先月、患者会の支部会で菊池先生が「悪性度とか予後が悪いとかいうのは、時代によって変わる」とおっしゃって下さったのがすごくありがたくて… 私は乳がんが12.3cmあり、悪性度がかなり高いと言われまして、転移はなかったんですがリンパ節は取ったんですね。それで悪性度がかなり高いと言われていたので常に不安だったんですが、薬によっても変わると先生がおっしゃっていたのでほっとして不安が薄らぎました。

Cさん 私は、抗がん剤がパクリタキセルに変わって、週1回の点滴になりました。週3回の時より気分的にかなり楽になりました。点滴を受けた当日は眠いんですが前のように気持ち悪くならなくなりました。以前は抗がん剤治療を受けてそれでもういっばいで、食欲もない何もする気が起きない、でも何かしないといけないのでできないから落ち込むの繰り返しで辛かったんですが、薬が変わってからは身体も楽になってきたので、家に籠っている飽きちゃうので、陶芸教室に通うことにしました。陶芸をやっていると無心になれるので余計なことを考えなくていいので続けていこうと思っています。

Dさん 6月で術後1年が経ちました。術前の抗がん剤も効いて、今は普通の生活ができています。病気が分かって2年近くが夢のように過ぎました。それでも時々精神的に不安定になることがあります。

Eさん 今、がんの方はぜんぜん心配なくて、仕事をやっています。一所懸命仕事をやっていることが励みになっていると思います。

Fさん 私は乳がんでも婦人科がんでもないんですけど、このフリートークの会に参加させていただいて精神的にずいぶん楽になりました。

Gさん 乳がんになって今年で6年目になります。再発もなく順調です。最近は少し人のためになることをしたいと考えていてボランティアをやっています。身体も精神も安定した状態でいられるようにやっていきたいと思っています。

Hさん ここ数カ月呼吸が苦しい苦しいとずっと辛かったんですが、8月の初めに診てもらって、心臓肥大していることがわかって、レントゲンを撮ったら右の再発している方の肺が真っ白になっていました。新人の医師がそのレントゲン写真を見てびっくりしました。

フルツロン、エンドキサンを6年飲んでいたんですが、今年になって飲むたびに苦しくて、主治医にそのことを訴えていたんですが「あなたの場合6年も飲んでいたらがんが抑えられていたんだから」と言われてました。今回フェマールに変えてもらって利尿剤で21日目にレントゲンを撮ってもらったら肥大が元に戻っていて真っ白だったのも治っていました。再発の影も薄くなっていました。

院長 それは間質性肺炎ですね、きっと。長いこと抗がん剤治療をすると間質性肺炎になる可能性は高いんですよ。呼吸が苦しくなったという訴えがあったら間質性肺炎を疑って必ずレントゲンを撮ってみなければね。フェマールにしなくても、元の薬をやめれば治ったと思いますよ。もう元の薬は使わない方がいいですね。もともと心臓ではなかったんでしょうね。心臓だったらそう簡単には治らないんですよ。アルキル化剤(代謝拮抗剤)は使わない方がいいですね。

Cさん 本には手術後普通に日常生活を送っていいと書いてあったりするんですが、家事は手抜きばかりだし、庭に出ると虫さされが怖いので趣味の庭いじりもしなくなってしまって… これでいいのかとってしまいます。

院長 人間、生きていて外に出ないで閉じこもっているといいことはないですよ。許せる範囲で出かけた方がいいですよ。抗がん剤治療を受けているときだって本当は構わないんですよ。

Bさん 7月末にPET検査を受けたんですが、五十肩で整形にかかっていたんですが、がん転移のような肩関節周囲炎のようなものでもPETに写ることがあるんでしょうか。なんか、がんを見落とすことが怖い…

院長 がんのまわりも炎症が起こりますので、炎症はPETで写ります。PETで写ったらMRIなどで再度調べるといように2段階で調べたほうがいいですね。骨転移の場合、痛くなるのは骨膜に転移した場合なんです。骨髄に入ってしまうと痛くないんですね。

Dさん 生存率というのは私は気にしない方がいいと思うのですが、生存率何%というのは、病気が分かってから何年ということなのか、それとも治療が終わってから何年ということなのか、どちらなのでしょう？

院長 初発で10年後生存は術後の生存率、再発の場合は再発治療後の生存率です。30%生存といってもその30%がどういう生き方をしていたのか、そのうちのほとんどを病院で過ごしていたとしたら意味がありませんよね。そういう部分が一切抜け落ちています。

大きい病院は常に新しい患者さんを入れたいから再発した患者さんを外に出してしまう。よくなった患者さんだけカウントする。出された患者さんのことはカウントしないでほったらかしだから、生存率の数字というのは正確とは言えない。

脳外科、放射線科など、大病院自体が縦割りだから横のつながりがない。がん治療はチーム医療であるべきなのですが、それが日本は出来ていません。